

# 【計画名： 軍艦島デジタルミュージアムを中核とした南山手地区文化観光拠点計画】

## ①計画目標の達成状況

目標項目名（単位）	R2			R3			R4		R5		R6	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
来訪者数（千人）	10,000	18,483	185%	57,772	25,822	45%	63,549		69,904		76,894	
入場者満足度	4.3	4.2	98%	4.4	4.4	100%	4.5		4.6		4.7	
小学生入場者数（人）	200	1,425	713%	2,297	1,508	66%	2,527		2,780		3,058	
来訪者数/訪日外国人（人）	300	241	80%	2,293	326	14%	2,522		2,774		3,051	

## ②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度前半は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でコンテンツ制作が計画通りに遂行出来なかった。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度も入館客が少なく厳しい状況だった。</li> </ul> <p>休業期間：2021/5/7~6/20, 8/13~9/12, 2022/1/21~2/13</p>
<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響でコンテンツ制作やモニターツアーなど令和3年10月から順次開催した。概ね高評価だったが、新型コロナウイルス感染症の影響の為、観光客が戻ってきていない状況で目標には達していない。</li> </ul>

## ③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R2	R3	事業類型毎の実績額
事業1-①	「軍艦島余命展」開催事業	—	アート展示・プロジェクションマッピング展示を実施 公開討論会を実施	5.7百万円
事業1-②	子供の知的好奇心向上事業	—	小学生向け冊子制作及び配布を実施	0.9百万円
事業1-③	施設を繋ぐ共通入館ツアー事業	—	モニターツアーのみ実施	1.8百万円
事業1-⑤	サンセットクルーズ・ナイトミュージアム事業	—	映像制作・モニターツアー実施	0.4百万円
事業2-①	資料収集・エピソード発掘事業	—	軍艦島関連映像5本放映実施	3.8百万円
事業2-②	コンテンツ多言語化事業	英語翻訳及びモニター入力放映を実施	繁体字・簡体字翻訳及びモニター入力放映を実施	4.3百万円
事業3-①	HPでの前売り券販売システム・券売機・無人受付機導入事業	—	前売り券販売システム開発・無人受付機導入実施	12百万円
事業5-④	ホームページの多言語化	—	英語・繁体字・簡体字HP実施	5.7百万円
事業6-①	世界遺産ストリート関連事業	—	外装サイン工事・ビジョン・デジタルサイネージ設置を実施	15百万円
事業6-②	受付の改装工事	—	受付拡張工事実施	1.8百万円
各年度ごとの実績額→		2.4百万円	49百万円	51.4百万円

## ④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業1-②以外は令和3年度後半に実施したので、大きな評価に繋がっていない。</li> </ul>
<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業6-①は、令和3年11月末にビジョン設置を実施し、来館客増加になり効果があった。</li> </ul>

## ⑤拠点施設の要件に関する取組状況

	↓文化観光拠点施設名
要件	軍艦島デジタルミュージアム
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	軍艦島の建物の寿命を学術的な観点から紹介する展示を実施した。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	VR MRなど最新デジタル技術を取り入れた展示を実施している。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	QRコードを読み込みオーディオガイドにて多言語で解説している。インタビュー映像の多言語化（英語・繁体字・簡体字）での解説を実施している。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	長崎県、長崎市、長崎市国際観光コンベンション協会、長崎県観光連盟、長崎市宿泊施設協議会などの連携体制を構築している。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	他の文化観光施設の入場者数などデータを収集している。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立	KPIの設定はしているが、コロナ禍で評価が出来ない。

## ⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

<p>事業1-①：軍艦島シンポジウムについて、軍艦島についての文化的な価値や、建物の老朽化への専門家や地元市民による提案など、軍艦島について深く学ぶ機会となったと考えられる。</p> <p>事業1-⑤：サンセットクルーズについて、JNTOによる訪日インセンティブ向けの体験コンテンツの公募に、こちらの商品を応募したところ採択された。モニターにも参加したが、長崎の海に太陽が沈むサンセットと、新世界三大夜景に選ばれたイルミネーションと、2つの夜景を楽しめる内容はとても長崎らしい体験だと感じられ、今後の需要が見込まれる。また、クルーズ内で飲食を楽しむことと、往復の移動時間に長崎の観光情報の動画を楽しめることも参加者にとって有意義だと考えられる。</p> <p>事業6-①：外観サイン工事やデジタルサイネージについて、以前よりも分かりやすく現代的でモダンな外観により、グラバー園やちゃんぽん発祥の四海楼を訪問する観光客に対してのアピール力が強まったと考えられる。</p> <p>(一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会)</p>
--

## ⑦今後の改善の方向性

<p>各事業の効果を把握する為、来訪者に対して目的を絞ったアンケート調査をきめ細やかに実施し、アンケート結果を分析した上で改善点を検討し対応するよう努める。事業1-③、事業1-④は、広く告知をする為にHPに掲載するのはもとより、旅行代理店への営業、地元宿泊施設との連携を取り、販売を促進する。5-④HPの多言語化が整ったが、今後、アフターコロナで外国人観光客の訪日が増えることを見込み、外国人が好むテーマをHPのブログやニュースでリリースし、外国人観光客増加の取り組みを強化する。</p>
--